

喫煙客を大切に空間に

《喫煙ブース『スモーククリア』》



遊技している場所から最短距離で喫煙ブースに行けるように中央通路にスモーククリアを6台設置した



レストコーナーにも4人用のスモーククリアを2台設置



1人用なので女性客でも喫煙しやすい環境

日本一のエンターテインメントとホスピタリティを掲げ、和歌山県内にパチンコホールを展開する大洋社。同社が運営する海南市の『LOVE』は、今年でオープン10周年を迎えるワンフロア1000台超の大型店だ。地域密着型の店舗として「愛と笑顔が溢れるお店」をテーマに遊びやすさの追求を目指している。

来年4月からの改正健康増進法の施行を見据え、今年11月に和歌山県で初めて喫煙ブースを

導入。エルゴジャパンの『スモーククリア』の1人用6台を中央通路に、4人用6台を外通路や休憩コーナーに設置した。遊技客目線で「ここにあっていいな」を最小限の台数で実現するための配置だ。「自店の喫煙者率は半数以上。特に朝から遊びに来てくださる年配のお客様の負担にならないような配置を考えた結果、中央通路に喫煙ブースを6台設置しました。島端や、レストコーナーまで行くとなると移動距離が長くなること

で遊べる時間も減りますし、わざわざ席を外してきたのに先客がいたらストレスにつながってしまいます」と話すのは出嶋克行常務。中央通路に設置することで島中からも他の喫煙者がいるか確認ができ、好きなタイミングで喫煙ブースに足を運ぶことができる。遊技台からの最短距離を確保し、少しでも喫煙者にかかる

ストレスを抑えたい。万一、喫煙ブースが埋まっていた場合、さらには休憩コーナーで吸いたい人のために、4人用の喫煙ブースも設置した。「まだ改正健康増進法について知らないお客様が多くいます。今このタイミングで導入したことでもう遊技台で吸えないの？」と勘違いされる方もいらっしゃいましたが、

掲示物やスタッフの声掛けで今では理解していただいています。直前に導入すると、お客様が困惑してしまう。今のうちに理解していただけることで、来年の4月からスムーズに対応できます」和歌山県では初めて喫煙ブースを導入したということもあり、常連客の反応も良く、今では喫煙ブースで吸う喫煙者もいるという。今は、まだ設置していないグループ店でも導入を考えている。『LOVE』では改正健康増進法の問題を先に解決したことで、次の目標を目指す。「パチンコの悪いイメージでもある『三オイ』がなくなることで新規ユーザーの獲得が望めます。10年目ということで、設備の変更も考えています。自店の強みである接客力を活かし、清潔なパチンコホールをアピールして今後も遊びやすさの追求を目指します」



掲示物で来店客に喫煙ブース設置と改正健康増進法を案内